



施設の長寿命化や利用客の増加を目指し、昨年12月から改修工事を行っていたあやべ温泉（睦寄町）。3月1日にリニューアルオープンしました。



眺望の良さが人気の露天風呂。ぬれたまま座れる畳でくつろげます



ゆったり
リフレッシュを

緑土
永井 晃 代表取締役社長

ヒノキの香りに包まれ、ゆったりリフレッシュできる露天風呂に生まれ変わりました。休業期間中は施設の改修だけではなく、従業員のおもてなし研修なども実施。皆さんにより楽しんでいただける施設になったと自負しています。リニューアルしたあやべ温泉にぜひお越しください。

今回の工事では、露天風呂をヒノキで設えた木質風呂になりました。また、「ならえんの湯」には信楽焼の壺湯^{（ひつゆ）}写真上^{（うえ）}、「みつしゃくの湯」には畳スペース^{（たたスペース）}写真左^{（ひだり）}を新設。それぞれ日替わりで楽しめます。

このほか、全館のトイレ・ウォシュレット化やマッサージ室の個室化なども実施。事業費は約4400万円です。

入浴でドリンクをサービス

同温泉を管理する緑土（永井晃代表取締役社長）は、リニューアルを機にレストランメニューを充実。野菜のスマージー^{（スマージー）}や上林鶏を使ったメニューなど、地元食材と健康にこだわった料理を提供します。また、子ども向けメニュー^{（メニュー）}や地元菓子店と連携したスイーツなども取り揃えました。か、テイクアウトできる軽食も追加しました。

スを行っています。

また、入浴券11枚（5500円分）と食事券がセットのプレミアム入浴券を、4500円で好評販売中（数量限定）。同温泉と観光案内所（駅前通り）、あやべ特産館（青野町）、FMいかる（西町一丁目）で購入できます。この機会にぜひお買い求めください。

ヒノキ香る露天風呂に あやべ温泉リニューアル

露天風呂を一新



地元食材で健康メニュー



市政運営方針 災害からの復旧・復興と行財政の健全化を最優先

山崎善也市長は3月1日、綾部市議会定例会で市政運営方針を発表。これまでの施策を振り返りつつ、平成31年度は一度立ち止まり「災害からの復旧・復興と行財政の健全化を最優先」に取り組むことを表明しました。

市長としての9年間、人口動態の分析を基に、一貫して人口減少対策を実施。「医・職・ワードに、子育て支援と社会動態の改善に努めてきました。定住サポート窓口を通じた定住者は222世帯、543人に上り、本市の定住施策は高い評価を得ています。

また、地域政策では「地域クラスター戦略」を基に各地域の活動を支援し、本市全体の活性化を目指してきました。一方、市街地にはあやべグンゼスクエアや北部産業創造センター（仮称）新市民セ

センターなどを整備。商業施設も含め、民間との連携で都市機能の集約とにぎわいの創出に努めています。さらに、本市単独で臨むより多くの効果が期待できる施策は国や府、近隣自治体と連携。海・森の京都DMOや北部地域連携都市圏形成推進協議会などで、観光振興や地方創生に取り組んできました。

このような中、7月豪雨での甚大な被害を受けた平成30年度の災害復旧予算は約23億円に上り、過去5年分の災害復旧費を单年度で超えました。その負担は重く、平成31年度は緊縮型予算とせざるを得ません。今まで進めてきたまち

づくりの見直しを余儀なくされる状況は極めて残念ですが、当面は「災害からの復旧・復興と行財政健全化」を優先すべきと考えています。

安全・安心分野に重点配分

緊縮財政の中でも、安全・安心のまちづくりを推進するため、防災や福祉分野に予算を重点配分。（仮称）新市民センターも今秋の完成を目指して工事を進めます。また、来年の市制施行70周年に向けて機運を盛り上げ、災害で疲弊した地域を元気づけるための補助金なども新規事業として取り組みます。新図書館は、早期着工を目指し、その実施時期を含めて検討します。

安心のまちづくりの指針となる第6次市総合計画の策定を進めています。5月から8月へ引き上げ時にも転嫁せず、定される10月に見直しを予定しています。

各施設の適正管理等に必要な受益者負担として、ご理解をお願いします。

平成31年度は、今後10年間のまちづくりの指針となる第6次市総合計画の策定を進めます。夢と希望が持てるまちづくりに向け、市民の皆様とオール綾部で英知を結集すれば、必ずやこの難局を乗り越えられると確信しています。

20年ぶりに手数料等を改正

整備が進む（仮称）新市民センターの競技場（上）と武道場（下）

平成31年度は緊縮型予算に

ンターなどを整備。商業施設も含め、民間との連携で都市機能の集約とにぎわいの創出に努めています。さらに、本市単独で臨むより多くの効果



30年の歴史に幕

最後の永井賞決まる

市の地域産業（商工、観光、農林漁業）の振興・発展に多大な貢献、または将来性のある取り組みを行っていると認められる団体や企業、個人を表彰する永井賞。本年度の受賞者が決定し、30年の歴史に幕を下ろしました。

地域メディアが永井賞に輝く



2月8日に市役所で開催した授賞式では、それぞれに表彰状と副賞が贈られた

厳しい運営状況

市は2月8日、平成31年度の国民健康保険（国保）の運営について、市国民健康保険運営協議会（木下芳信会長）から答申を受けました。1人当たりの国保料は据え置きで、関連予算案を3月綾部市議会定例会に提出しています。



木下会長から答申を受ける山崎市長

本年度は13件の応募があり、綾部市永井産業振興基金審議会が審査。市永井賞にあやべ市民新聞社（大島町）・エフエムあやべ（西町一丁目）の1件、市永井奨励賞に綾部サケ放流事業実行委員会（高津町）▽BIG THREE FA RM（佃町）▽工忠照幸（五泉町）▽ふるさと振興組合空山の里（鍛冶屋町）の4件が選ばれました。

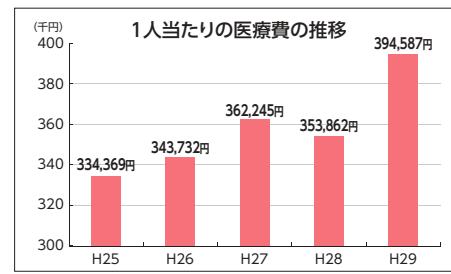
メディア2社共同による地域経済振興への功績が評価されたあやべ市民新聞社の高崎忍社長は、代表スピーチで「いたいたい賞金は、（課題である）人口減少対策に使いたい。

国保とは、病気やけがをしたときに安心して医療が受けられるよう、みんなで助け合う制度です。しかし近年は、加入者が減り、保険料などの歳入が減少。一方で、一人当たりの医療費は年々増加。さらに厳しくなる見込みです。その収支差に国保準備基金（貯金）を有効活用することで、保険料を7年連続の据え置きとします。

平成31年度の1人当たり国保料の平均年額は、医療給付費分や後期高齢者支援金分、介護納付金分を含めて、7万円です。

特定健診の受診を

市の国保では、病気の早期発見と健康増進のため▽特定健診・特定保健指導▽人間ドック総合健康診断補助事業▽糖尿病腎症重症化予防事業など実施しています。しかし、特定健診受診率は34.4%とまだ利用が広がっていないません。自分の健康状態を知り、生活習慣を見直す機会として、積極的にご活用ください。



善聞語録

109

唐突なタイトルと映るかもしれないが、昭和を代表するフォーク歌手、井上陽水の代表作で、還暦世代ならば多くの方に馴染みのある曲名であろう。

都会では自殺する若者が増えている…だけでも問題は今日の雨、傘がない…行かなくちゃ…君に逢いに行かないちゃ…♪陽水は、政治や時事などを問う間に問題よりも、我が身の回りのことが大事とする価値観を、愁いを帯びたメロディーにのせて歌い上げ、安保闘争に端を発する学生運動に疲れた世代を中心受け入れられ大ヒットした。「ノンポリ」「ノンセク

統一地方選が近づいてきた。投票率の低下、とりわけ若者世代の政治離れが著しいとされるが、不確実性の時代の為政者を選ぶ大切な選挙であるだけに、陽水の時代の為政者を選ぶ大切に思ふべきは、これも言わぬがな、だが…。

第1回授賞式典=写真左二でスピーチする故・永井幸喜氏=写真右。関東地方でホームセンター事業を興し、会社を上場。ふるさと産業発展を願って多額の寄付をいただいた



これまでの受賞者（敬称略、数字は受賞年度）

【永井賞】

H1=黒谷和紙振興会、H2=綾部市スポーツ少年団、H4=綾部工業研修所、H5=村上正、中筋商工繁榮会、H6=綿素材生産研究会、田中嘉二、H7=志賀郷和会、綾部市茶生産組合連合会、H8=河北地治、H9=永井久壽、H10=和木町農林業振興組合女性部、茶道裏千家淡交会両丹支部綾部班

【永井特別賞】

H1=西本至、赤井弘、H2=綾部世界連邦建設同盟

【市永井賞】

H26=協同組合日東協力会

【市永井奨励賞】

H19=塩見直紀、H20=新庄大豆生産組合、H22=綾部ベンチャー・ものづくりの会、H23=Aカーナード会、H24=植田敏昭、響連、H25=コ宝ネット、H27=JA京都にのくに農産物直売所「彩菜館」綾部運営協議会、綾部商工会議所建設部会空き家媒介事業者紹介業務参加事業者、綾部パラ会、H29=鹿ヶ谷かばちゃんプロジェクト

※市永井大賞は該当なし

地域産業が厳しい状況でも決して諦めず、今後もエフエムあやべとともに地域活性化に尽力したい」と抱負を述べました。

故・永井幸喜氏の寄付で設立された記念財団の顕彰事業として始まりました。同財団は、本市出身で名誉市民の故・永井幸喜氏が、私財2億円を投じて設立されたものです。平成17

永井賞は、平成元年に永井賞機会に、規模拡大や設備投資をし、さらに飛躍した受賞者もあり、永井氏のまいた種が、綾部の産業振興につながっています。

同財団と市の表彰は、本年度を含め50団体・13個人。受賞機会に、規模拡大や設備投資をし、さらに飛躍した受賞者もあり、永井氏のまいた種が、綾部の産業振興につながっています。

山下信幸さん（神宮寺町）

平成13年度から4年間、永井記念財団の理事、平成23年度からは市永井産業振興基金審議会の委員長を歴任。

永井氏の思いを受け、長年携わった永井賞。皆さんに納得いただけるよう、明確な基準での審査を心掛けてきました。受賞者が地域で頑張っている姿をとてもうれしく思います。地域に根付いた大きな顕彰事業がなくなることは寂しいですが、今後も綾部の産業の振興・発展に期待しています。



あやべトピックス



消防団が防災功労者 消防庁長官表彰を初受賞

綾部市消防団（白波瀬博之団長）が、防災功労者消防庁長官表彰を初めて受賞。2月12日に白波瀬団長ら3人が市役所を訪問し、市長に報告しました。この賞は、平成30年7月豪雨での活動実績が認められたもの。受賞した全国55消防団のうち近畿地方では唯一、綾部市消防団が選ばれました。白波瀬団長は「大きな災害があったことを忘れず、今後の活動につながれば」と述べました。

ロボット操作を楽しむ

市と府などは2月16日、青野町の北部産業創造センターで「ロボットサミット2019」を初めて開催しました。市内外から小・中学生など68人が参加。京都工芸繊維大学が製作した「NHK学生ロボコン」出場機の操作や同大学と市内企業が共同開発した消火訓練用VR（仮想現実シミュレータ）を体験するなどし、ロボットに親しみました。



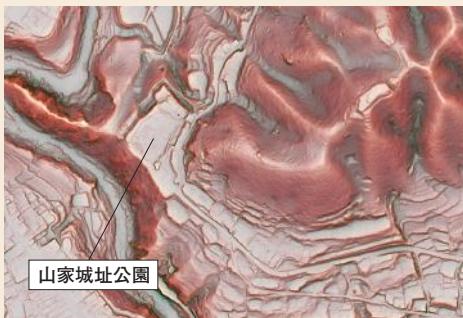
綾部駅前交番が移転

府警察本部は、老朽化していた綾部駅前交番をJR綾部駅南口に新築移転。2月27日から運用を開始しました。新たな交番には車両2台分の駐車スペースを確保。駅からのアクセスも向上し、利用しやすくなりました。同交番には警察官が24時間常駐し、市民の安全・安心を守ります。



山家城址周辺の赤色立体地図を展示

市は本年度、山家城址周辺で赤色立体地図＝写真＝を作成。3月8日から里町の資料館に展示しています。これは、山家陣屋跡と武家屋敷跡、山家城跡を歴史資源として保全し、観光資源として活用することを目指した基礎調査。調査により、城址公園北側の大規模な横堀や土塁などがよく分かるようになりました。今後発掘調査等も行う予定です。



大賞 綾部市長賞 シャガ咲く里山

鈴木 隆（岡町）



特選



綾部商工会議所賞
ミツバツツジのトンネルの先には
居相なほみ（福知山市）



あやべ市民新聞社賞
夏娘
谷川るい（大阪府吹田市）



綾部市文化協会賞
装い新たに 阪田 清（舞鶴市）



京都新聞賞
祭日 白木勇治（福知山市）



京都府観光連盟賞
里山の朝 細川洋子（西町三丁目）

入選作品は3月22日から4月10日まで、あやべ観光案内所（駅前通り）で展示。以降、市内各所で約1か月ごとに巡回展示します。

第18回 あやべ観光写真コンテスト 入賞作品決定

「輝くあやべ・再発見」をテーマに、市観光協会（平野正明会長）が主催する「第18回あやべ観光写真コンテスト」。このほど入賞者が発表され、美しいシャガの風景を写した鈴木隆さん（岡町）の作品が大賞に選ばされました。

デジタルで応募増加

同コンテストは、綾部の魅力や観光資源を発掘し、広くPRすることなどを目的に毎年開催されています。本年度は初めて、デジタルカメラやスマートフォンで撮影したデータ写真で応募を受け付け。これが奏功し、14歳（過去最年少）～84歳の78人から、262点（昨年度比84点増）の応募がありました。審査会は2月14日を開催。大賞1点と特選5点、入選10点が選ばれました。大賞、特選以外の入選者は次の皆さんです（順不同、敬称略）。

四方敬一（下八田町）▽西岡正則（田野町）▽温井ヒロシ（睦寄町）▽藤崎優子（井倉町）▽山岡肇（味方町）▽山口健治（青野町）▽小池桓（知山市）▽島本和美（舞鶴市）▽松岡秀雄（舞鶴市）▽上田清（宮津市）。

入選作品は3月22日から4月10日まで、あやべ観光案内所（駅前通り）で展示。以降、市内各所で約1か月ごとに巡回展示します。